

令和 3年 9月24日健康福祉委員会－09月24日（市長質問分）

◆西 委員 創志会の西でございます。よろしくお願いします。

市長の財政の議論もしたいんですが、総務財政委員会ではないので、ちょっとそれはやめますが、今議会の補正予算案に計上されている新生児世帯特別給付金について事業の目的及び概要をお示してください。

◎橋本 子ども企画課長 本給付金の目的と概要でございますけども、本給付金は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、出産された家庭の子どもの健やかな成長を応援することを目的に実施するものです。

給付の対象は、堺市内の今年令和3年1月1日から12月31日までの間に誕生しました新生児の属する世帯で、新生児1人につき3万円を給付いたします。以上です。

◆西 委員 この新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、堺市のこれまで行った新生児を対象とした給付金についてお示してください。

◎橋本 子ども企画課長 令和2年には、国の制度で市としまして特別定額給付金を同年4月27日までに生まれた新生児を含む1人につき10万円を給付いたしました。

また、市独自制度といたしまして、令和2年4月28日から12月31日までに生まれた新生児1人につき5万円を支給いたしました。以上です。

◆西 委員 国の事業は除いて、去年5万円支給して今年3万円支給するということですけども、この制度に対する市長の思いをお伺いします。

◎永藤 市長 堺市では、これまで国の臨時交付金も活用しながら、様々な支援策やコロナの対策を行ってきました。今の答弁で、令和2年に市の独自施策として、特別定額給付金の対象にならなかった新生児につきましても給付を行いました。臨時交付金の期限がありまして、その関係から、昨年12月までに生まれた方を対象としておりました。

感染拡大は今年初めの第3波、そして4月から5月にかけての第4波、また今の第5波と回を追うごとにその波の勢い、強さというのは大きくなっています。長期間の緊急事態宣言によって、市民の皆様にも多大な御負担がある中で本当に御協力をしていただいております。感謝をしております。

特にコロナ禍で様々な制限がある中で新しい命を授かって出産される方、より強い不安や孤独の中で過ごされていることと思います。困難な状況で出産をして子育てをされる市民の皆様を応援したいという強い思いがあって、今回の提案をさせていただきました。

◆西 委員 ありがとうございます。市長、波の強さが大きくなってきたとおっしゃって、まさにそのとおりだと思うんですが、実は去年は5万円で今年は3万円ということなんですけども、私は実は当事者世帯でして、まさに個人的には非常にこの給付というのはありがたいなと思いますが、さはさりながら、議員としてはこの制度論をしっかりとなくちゃいけないと思ってますけれども、当事者だから言わなきゃいけないことがあります。

今回給付金額、なぜ3万円としたんですか。

◎橋本 子ども企画課長 今回の3万円としたかという話ですけども、コロナ禍の中で妊娠・出産に当たりましては、平時の場合と比べまして、感染に対する不安から精神的な負担も大きく、家庭での生活や通院などの場面におきまして、不安解消や感染予防のための経済的負担が生じているものと認識しております。

本事業に要する経費につきましては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を充てることとしております。本創生交付金は本市の様々な新型コロナウイルス感染症関連の事業に充当しており、本市の持つ創生交付金の枠の中で、市の一般財源の財政負担が生じない範囲で制度設計し、1人につき3万円という金額といたしました。以上です。

◆西 委員 3万円の積算根拠、もっと具体的に言ってください。

◎橋本 子ども企画課長 具体的といいますが、コロナ禍におきまして、先ほど申し上げました家庭での生活や通院などの場面というところで、通常感染の不安などから、通院などでは公共機関を御利用なさっていた方がタクシーを使って御利用されたりとか、例えばあとふだんの生活の中で消毒であったり、そういう感染予防のための物品的な経済的負担が平時の場合に比べて増大しているというふうに考えております。以上です。

◆西 委員 ずっと議会でEBPMと言ってきたんですよ。エビデンス・ベスト・ポリシー・メイキング。つまり根拠が示されないと駄目だと思うんですが、今の全然具体的じゃないです。具体的に。

◎橋本 子ども企画課長 3万円の金額の具体的な積み上げということで、具体的にこの分で幾らという形で3万円という積算は、今回の予算要求に当たってはしておりません。以上です。

◆西 委員 様々な調査があるんですけど、何で具体的に調べないんですか。

◎橋本 子ども企画課長 この予算要求につきましては、そういう調査は行っておりま

せん。以上です。

◆西 委員 財政査定ってそんなんでいいんですか。

◎橋本 子ども企画課長 今回の査定につきましては、交付金の中でのどれだけこの事業に充てることができるかというところで、この3万円という査定になっております。以上です。

◆西 委員 聞いたことに答えてください。

◎橋本 子ども企画課長 これについて財政のほうとの調整の中で3万円という査定をいただいております。以上です。

◆西 委員 聞いたことに答えてください。数字の根拠なく3万円って決めていいんですかと聞いてます。

◎永藤 市長 新生児世帯の給付金につきましては、もともとの発端が特別定額給付金でした。1人10万円、そこに根拠があったかどうかというのは西委員がお調べになったかどうか分かりませんが、私はその10万円というのは明確な根拠があって積み上げられたものではないというふうに考えています。

今も近く衆議院選挙がある中で、1人10万円とか、若年層に10万円とありますが、そこも根拠があればぜひお聞きをしたいと思いますのですが、まず1人10万円という定額給付金があった中で、本市には4月27日という昨年の線が引かれたところがありましたから、それ以降に出産された方々から本市にも多くの声が寄せられたと聞いています。妊娠しているんだけど、これから生まれてくる子どもには給付金はないのかと。その中でも、本来であれば特別定額給付金が10万円ですので、10万円を給付するというのが、私はお金があればやりたかった。しかし、様々な感染対策、他の支援策がある中で、財政状況から見ても5万円という判断をさせていただいた。それは特別定額給付金からの延長であるということが1つあります。

そして今回につきましても、昨年12月31日で切らなければいけなかった。それについて今この3万円というのは、様々な施策がある中で、今市で積み上げている臨時交付金の用途としてはこれがぎりぎりの金額だと。様々優先順位というか、本当にやるべきこと、必要なことというのは行いながら、そして今回不安の中で出産・子育てをされる皆さんにも応援をしたいという気持ちで、ぎりぎりのところでこの3万円という金額を出しております。以上です。

◆西 委員　　ここ国会でないんでね、国の議論したいわけじゃないんですよ。堺市の財政根拠はそれでいいですかと申し上げてます。応援をしたいのは当事者世帯の1人としては感謝を申し上げますが、気持ちで3万円、根拠なく3万円、5万円、逆に来年はないかもしれない。コロナによって、今年はこれぐらいかかっていますよ、今年はこれぐらいかかっていますよ、様々調査がありますから、エビデンスベースで出したということであれば理解できますが、根拠なく気持ちで3万円、気持ちで5万円、こんな積算根拠でいいんですかと聞いてます。

◎永藤 市長　　もちろん予算編成を行うときというのは、厳しいエビデンスベースの財政積み上げになります。財政査定の私ももちろん最終責任者として、その内容を確認しております。

一方でこのコロナ禍というのは、今何に必要なのかというところは矢継ぎ早にその状況というのは変わってきます。国会とは違うといいますが、やはり注目すべきところというのは私は同じだと考えています。どの分野に今どういうことが必要とされているか。そこについては、例えばこれを1年かけて考えるということであれば、遅きに失することになりますので、迅速な対応ということで、今回この内容については私はぜひ認めていただきたいと考えています。

◆西 委員　　ちょっとでもね、全てデータがそろってるわけではないのは承知をしますよ。ただ、皆さんなりにこう調べて、こういうふうには、普通に対象世帯に聞けばいいんですよ。こういうことでどういうふうにお金がかかっているか、サンプル数50でも100でも取れるでしょう。根拠に基づいて積算をすべきじゃないかと申し上げてます。

◎橋本 子ども企画課長　　委員のおっしゃるように、そういう調査については今回はしておりませんが、その中で今回の予算要求に当たっては、そういうどれぐらいかかっているかというヒアリングはしてないんですけども、今回この件があった中では何件か今のところは調査のほうはさせていただいています。ただ、今回この予算要求につきましては、そういう調査とか結果というものは反映しておりません。以上です。

◆西 委員　　こんなことをしていたらね、財政危機宣言ってどれだけ市長がおっしゃっても理解得れないですよ。この交付金だって、ほかの部局もいっぱい予算要求をしました。そんな中でここに1人当たり3万円分を充てる、そういう予算査定だったんだと思います。

皆さんがちゃんと理解、共感できるような積算根拠をちゃんと示してやる、それがパフォーマンスではない財政危機宣言だと思いますので、市長よろしく願い申し上げまして、この質問を終わります。